

試験結果報告書

No.214S- 672

平成26年9月30日

株式会社 ワーセラ 殿



遠赤外線応用研究会

〒542-0081 大阪府中央区南船場4-9-11

試験項目 電磁波低減効果試験

試験試料 Bhadoポケット

試験条件 1) 試験日時 平成26年9月27日
2) 試験環境 室温22℃ 湿度51%
3) 測定機器 アルファラボ製 トリフィールドメーター100XE型

試験方法 供試のBhadoポケットをスマートフォンに使用した場合の電磁波低減効果を確認するため、まずBhadoポケット使用前の電磁波を測定した。
次に、Bhadoポケットをカバーと本体の間に挿入し、同様に電磁波を測定した。
なお、電磁波は電場、磁場の2種について測定した。

測定範囲 電場：超低周波（60Hz）0～1000V/m（ボルト/メートル）
磁場：超低周波（60Hz）0～3mG（ミリガウス）

試験結果

Bhadoポケット使用によるスマートフォンの電磁波測定結果

	未使用時	Bhadoポケット 使用時	低減率(%)
電場(V/m)	36	25	30.6
磁場(mG)	2.5	2.2	12.0

考察 生体への電磁波の影響は磁場（mG）の発生量が一番懸念され、次に電場（V/m）の発生も懸念されている。Bhadoポケット未使用時の磁場発生は最大2.5mGであったが、Bhadoポケットを使用した場合は2.2mGまで低下した。また、電場の場合は36（V/m）が25まで低下した。このことから、Bhadoポケットを長期に使用することで、電磁波低減に一定の効果があることが示唆された。

以上